

2015年8月1日

市民公開講座 2015 横浜

大切な人のために、今知っておきたい最新医療 ～補助人工心臓と心臓移植～

2015年7月25日(土)に、横浜の「はまぎんホール」(〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3丁目1-1)におきまして、14:00～16:30の2時間30分に亘り、(一社)日本心不全学会と(一社)日本循環器学会の主催で、心臓移植市民公開講座2015 in 横浜「大切な人のために、今知っておきたい最新医療 ～補助人工心臓と心臓移植～」が開催されました。

参加費は、無料で一般市民に公開され、来場者数は(302名の記帳がありましたが、ご家族来場で代表者一名のみの記載も多くあり)実際には350名を越えました。

市民公開講座は3部構成で進みました。

大切な人のために、今知っておきたい最新医療 — 補助人工心臓と心臓移植

第一部 基調講演・対談
心臓移植を受けた私の第2の誕生日
磯部 光章 (東京医科歯科大学)
布田 伸一 (東京女子医科大学)

第二部 基調講演・対談
心臓移植を待機すること
～補助人工心臓と家族に支えられて～
小野 稔 (東京大学)
補助人工心臓をつけて心臓移植を待機されている患者さん

第三部 対談
今、私たちにできること
武藤 寛氏 (舞台俳優)
[来場者参加] 意思表示に役立つおさらいクイズ

第一部は「心臓移植を受けた私の第2の誕生日」というテーマで、心臓移植についての医学的解説のほか、国内外で心臓移植を受けられた患者さん達が登場されました。24年前の7月25日に心臓移植を受けられた患者さんは、まさにこの日が第2の誕生日でした。そして、心臓移植を受けて、その後結婚され生まれたお子さんと一緒に登壇された患者さんは、まさに「命のリレー」そのものでした。



第一部の最後に、臓器移植を待機された患者さんが残念ながら亡くなられ、ドナーとなることを決断されたご家族のお手紙がご紹介されました。

第二部は、「心臓移植待機」に欠かせない補助人工心臓について、医学的解説が行われ、実際に植込型補助人工心臓で移植待機されている患者さん達から、日常生活のお話がありました。



第三部では、現在横浜を中心に活躍されている舞台俳優の武藤寛（むとう かん）さんが友情出演され、「命の大切さ」について、また自分と移植との関わりについてお話しされました。そして、移植についてのクイズを行って、市民公開講座は無事終了しました。



2時間半という時間がとても短く感じられる感動の連続で、会場は満席に近い状態でした。

なお、今回は新たな試みとして、2015年7月21日（火）から27日（月）の1週間に亘り、お隣の「みなとみらいギャラリー」において移植に関係した展示を行いました。

来場者は、Gift of Lifeの絵画やポスター等の展示をゆっくり鑑賞されておられました。

